

温度湿度計 取扱説明書

(快適環境表示/高精度センサー/電波時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2412)

アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この製品の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート
<https://rhythm.jp/support/>

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 8RZ○○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る

- 傷をつけない。
- 分解しない。
- ショートさせない。
- 充電しない。
- 加熱しない。
- 火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息するおそれがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕/⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくこと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 製品が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 製品が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。(アルカリとマンガンは混ぜないでください)
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、本製品には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※[EVOLTA]は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

温度と湿度表示についての注意事項

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

○センサーが本体内部にあるため、本体周囲の温度・湿度変化をすぐには反映しません。

○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。

※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

※測定はリセット直後と、その後は1分間隔で測定します。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 [H] 50℃を超える高温 [Lo] -9.9℃未満の低温
湿度 [H] 95%を超える多湿 [Lo] 20%未満 [--] 測定不可
*湿度は温度が5~50℃のときに測定可能

※快適状態の体感には、温度と湿度以外に空調の風速などの条件によっても左右されますので、表示と実際の体感には違いが生じることがあります。また、個人差によっても違いが生じることがあります。

※注意報表示は、発生の有無を断定するものではありません。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

※快適状態や注意報の表示は、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて製品お買い上げの販売店にご持参ください。お買い上げの販売店にて修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※品名・型番

※保証期間

お買い上げ

お客様

ご氏名

ご住所

TEL () -

年 月 日より1年間

様

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- ご購入いただきました個人情報、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さなキズや汚れなど)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

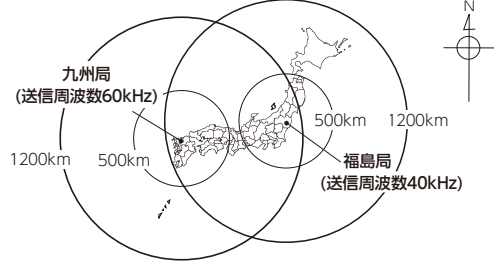
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(https://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

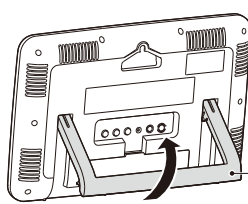
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

設置について

置く



置いてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。
※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。
※転倒を防ぐために、水平で安定したところに設置してください。

掛ける

注意 掛けかたが不適切な場合、製品が落下する危険があります。

○掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と製品の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は製品が落下する危険がありますので、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃(液晶表示可読温度範囲0~40℃)*結露しないこと	温度表示	-9.9~50℃
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	温度精度	±1℃
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2本 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます	湿度表示	20~95%RH(注)
電池寿命	約1年間	湿度精度	±3%RH 25℃、60%RHにおいて
電池の交換時期 お知らせ機能	あり 液晶に電池マークが表示	カレンダー	2022~2099年対応
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正	防塵防滴機能	なし
受信局	福島局/九州局自動選択		
受信回数	8回/日		
受信開始時刻	1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に開始		
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能		

(注)[%RH]は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には[%]で表示されています。

※液晶はその特性上、0℃未満になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。

40℃を超えると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

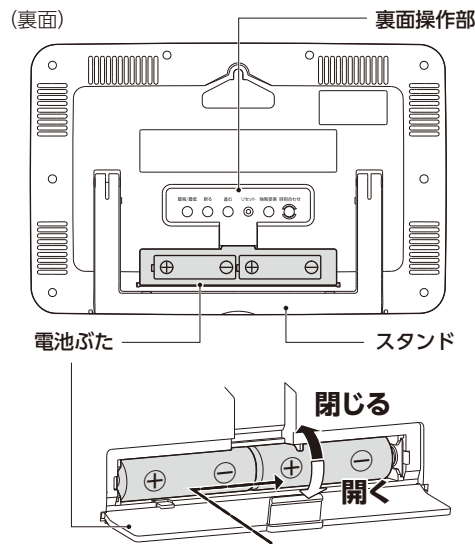
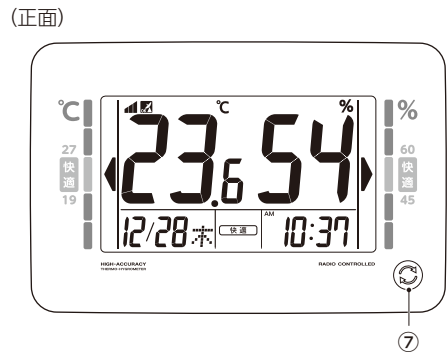
付属品 木ねじ 1個、取扱説明書・保証書 本書

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

電池は付属しておりません。単3形乾電池を2本ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



- (裏面操作部)
- 最高/最低 戻る 進む リセット 強制受信 時刻合わせ
- ④ ③ ② ① ⑥ ⑤
- ①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。
- ②進む(+)
③戻る(-) — 手で日時を合わせるときに使用。
- ④最高/最低 — 24～25時間以内の温度・湿度の最高/最低値を確認するときを押す。
- ⑤時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。
- ⑥強制受信 — すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ⑦表示切替 — 温度・湿度と時刻のメイン表示を切り替えるときに押す。

本体正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

電池の入れ方

- 電池がたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形乾電池を2本入れる。
※1本目の電池は、左側に入れてから右側に移動させてください。
- 電池がたを閉じる。

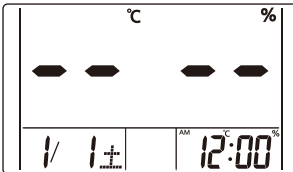
注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

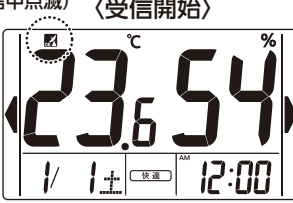
標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



受信マーク (受信中点滅)



電源投入直後およびリセットを押した直後は、2022年1月1日 午前12:00に設定されます。

受信マークの変化 (電波サーチ機能)

電波の状態により変化します。

受信できない 受信しやすい

① ② ③ ④

チェック!

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押し、再度受信を開始させてください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

① 電池を入れる

② リセットを押す

温度・湿度メイン表示となり、受信マークが点滅し受信を開始します。
※受信中はボタンに触れないでください。

③ 20分待って受信結果を確認する

受信時間は最長で20分です。受信マークで受信結果を確認してください。
【受信の流れと表示】参照

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**強制受信**、**時刻合わせ**、**最高/最低**、**表示切替**を押すと、受信マークが消灯して、受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

受信終了 最長20分後

受信成功 受信マークが点灯

受信マーク消灯 失敗!

※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

(受信に成功したときの表示例)

(受信に失敗したときの表示例)

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットを押し再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

● 朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

● 場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に本体の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押しして結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。

手動での時刻合わせ

電波が受信できない場合は、下記の手順に従い手動で時刻を合わせてください。

手動で時刻を合わせても、受信機能がONの場合は自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

操作例: 2028年12月28日 午前10:37に合わせる



①「年(西暦)」が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続ける。

点滅している数値を進む(+)または戻る(-)で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます

ボタン 押してすぐ離す 押し続ける
進む(+) 1つ進む 早送り
戻る(-) 1つ戻る 早戻し

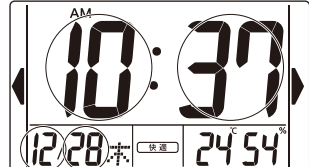


②年(西暦)を合わせる

③月を合わせる ④日を合わせる

⑤時を合わせる ⑥分を合わせる

※①～⑥の設定中に「進む」または「戻る」を押すと、設定後に0秒から開始します。



⑤時 ⑥分
以上で設定は終わりです。

- 表示の設定が12時間表示か24時間表示かをご確認のうえ、時刻合わせをしてください。
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示の一部が欠けるなど正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。

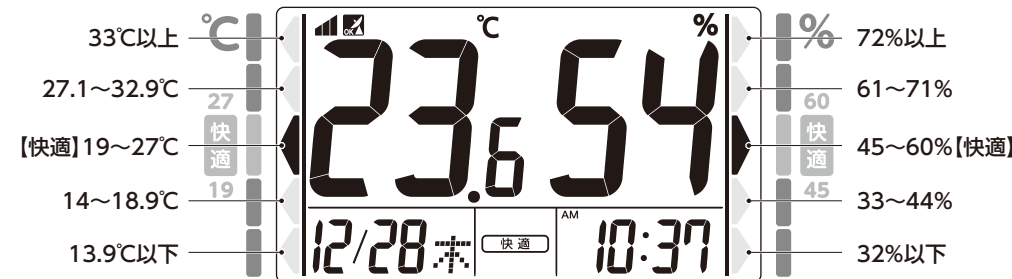
2 快適状態を確認する

液晶表示でお部屋の快適状態を確認できます。

エアコンや暖房器具などの温度調節、加湿器や換気などの湿度調節の参考にしてください。

■ カーソル表示で快適範囲を確認

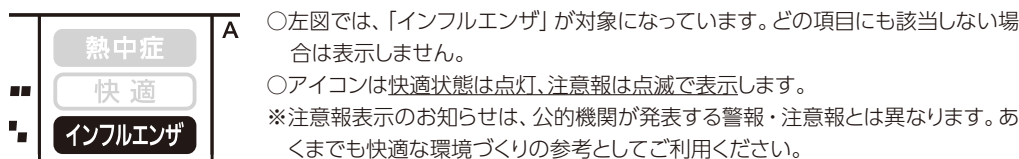
温度と湿度の快適な範囲をカーソル(◀▶)で表示します。



※上の図では、温度・湿度ともに「快適」を指しています。

■ 快適状態や注意報をアイコンの表示で確認

温度と湿度から導き出した数値から、快適状態のほかに、熱中症やインフルエンザの注意報など、お部屋の環境目安をお知らせします。



■ 最高/最低値を確認

最高/最低ボタンを押すと、24～25時間以内の温度・湿度の最高/最低値を表示します。



○最高/最低ボタンを押すと、メイン表示が温湿度の「最高値」に切り替わります。

通常表示の状態からボタンを押すたびに「最高値」→「最低値」→「通常表示」の順で切り替わります。

○約10秒間ボタン操作を中断すると、「最高値」や「最低値」の表示が消えて「通常表示」に戻ります。

※最高/最低値の表示中は、「快適状態カーソル表示」「快適状態/注意報表示」は消灯します。

※手動で時刻を設定しているときは表示しません。

最高/最低の計測結果をクリアする

最高/最低ボタンを約2秒間押し続けると、「最高値」と「最低値」を破棄して、新しく記録を開始します。

○記録を開始した直後に、最高/最低ボタンを押すと、「最高値」と「最低値」を記録していないため、「-」が表示されることがあります。

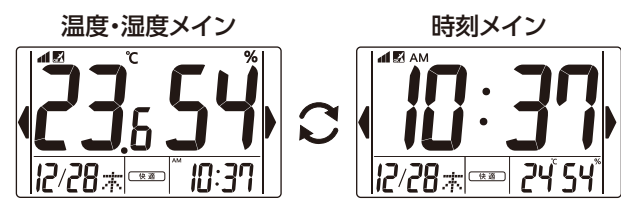
3 表示を切り替える

■ 表示位置の切り替え

正面右下の表示切替を押すと、温度・湿度と時刻の表示位置が切り替わります。

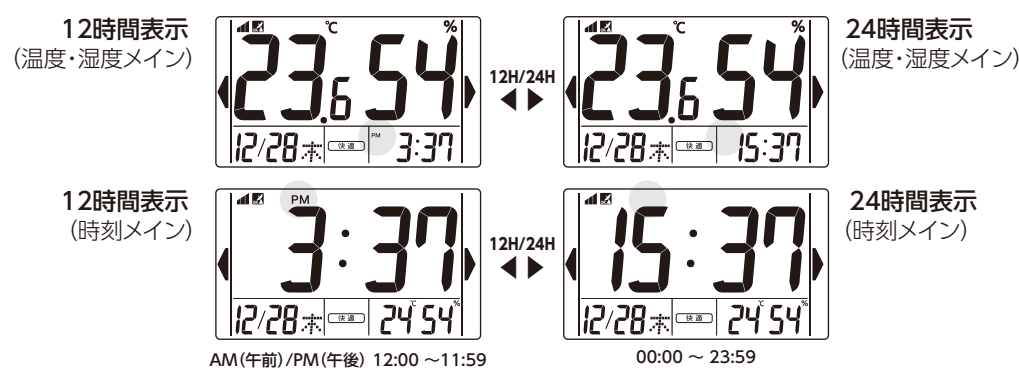
※最高/最低値の表示中は、切り替えができません。

※時刻メインでは、温度の小数点以下は四捨五入されます。



■ 時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐ離すと、AM(午前)/PM(午後)付の12時間表示と24時間表示が切り替わります。



強制受信とリセット操作について

強制受信 (受信機能がONのとき)

場所を移動したときなどに、**強制受信**を押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- 手動で時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

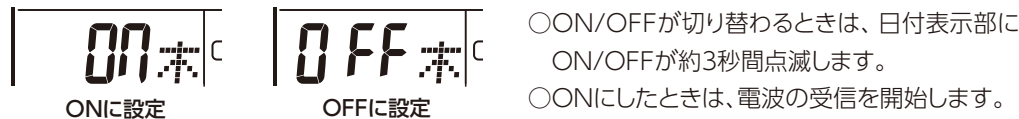
リセット直後は、2022年1月1日午前12:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFFを切り替える

○ON: 定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。

OFF: 電波を受信しません。遅れ込みが発生したときは、手動で日時を修正してください。

強制受信ボタンを約8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。



○ON/OFFが切り替わる時は、日付表示部にON/OFFが約3秒間点滅します。

○ONにしたときは、電波の受信を開始します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
 - 動いていても1年に1回定期的に指定の電池に交換する。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。使用するときは2本とも同じ種類の電池を使用してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からびさせてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、製品や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はゼロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。